

自然学校「水」授業 (新宮市高田)



# 自然学校で地方創生する新宮市

絵と文・熱田親恵

題字・熱田秦華

## 熊野古道

### みちのくに記

40

猛暑が続くので「都区」で「自然学校・土ど  
会脱出」を期していた「水と緑の学校」が6日  
ところ、新宮市高田地間の日程で開催されて

いると聞き、1泊2日  
の予定で訪ねた。

この自然学校は新宮  
市教育委員会、公益社  
団法人アジア協会アジ  
ア友の会、一般財団法  
人新熊野体験研修協会

金入り」のプロシエク  
トである。

新宮市教委の森奈良  
好課長は「幸いなこと  
に新宮市は、海、山、  
川の大自然に恵まれ、  
多様な自然学習ができ  
る、日本でも数少ない  
地域の一つ。多くの子  
供たちに自然の中で学  
び、自然を楽しんでも  
らえるようなプログラ  
ムを関係者と考えてい  
る」と語っておられる。  
アジア協会アジア友の

田川に沿って約5km進  
と高田地区・雲取温泉  
に着く。その裏を流れ  
る高田川ではカヌーの  
授業が始まっていた。

帰方法、オールの返し  
方などの手ほどきを受  
け、権のバランスが取  
れるようになるとカヌ  
ーは直進し、漕ぐ心地  
よさにみんな大はしゃ  
ぎだ。最後に20杯の  
管理班に分かれ、全部  
で150食分が賄われ  
ていた。見事なチーム

少の小学3年生の中  
には最初の2、3日、  
ホームシックにかかっ  
たり、高熱を出したり  
する子供もいたとい  
う。

本部のある保育所を  
訪ねるとアジア協会ア  
ジア友の会のスタッフ  
やボランティア関係者  
が炊事・調理班、食器  
洗い班、買い出し班、  
モンごっこに興じる昨  
今、ジャンル・ブッ  
クのCG画面で作られ  
た仮想社会を現実と錯  
覚したり、視覚と聴覚

ぞいていた。間もなく  
肉眼で見えない世界に  
驚きの声があちこちで  
上がった。未来の子供  
たちの姿を想像してほ  
っとし、喜ばしいと思  
った。

スマホで自分の住む  
現実世界を舞台にし  
て、大人も子供もポケ  
モンごっこに興じる昨  
今、ジャンル・ブッ  
クのCG画面で作られ  
た仮想社会を現実と錯  
覚したり、視覚と聴覚

## 五感の目覚め取り戻す

会の村上公彦局長は  
「飲料水不足のアジア  
に井戸を贈る運動を始  
めて37年。次世代の子  
供らは、自然の中で生  
活体験して、自然を大  
切にすることを学んで  
欲しい」と話し、学び  
とボランティアが結び  
つくことを期待する。

夕刻に高田川の支流  
沿いにテントで一晩  
を過ごすキャンプ村  
を訪ねると、丁度夕食  
タイム。カヌーで腹ペ  
こになった子供らは、  
自分たちで作った食  
事をトレーに盛り、顔  
を埋めるようにして  
ほおばっていた。最年

朝の散歩で青々とし  
た高田川の田園風景を  
満喫した後、「土」を  
学ぶ授業のある里高田  
会館を訪ねた。近くの  
高倉神社境内で掘った  
腐葉土からミミズや昆  
虫、微生物、腐葉のサ  
ンプルを作り、子供た  
ちが20倍の顕微鏡をの

だけしか真実を認知で  
きない生き物になりつ  
つあるのではと心配し  
ている。一人でも多く  
の子供たちが自然学校  
や体験学習を通して五  
感の目覚めを取り戻す  
とともに、和歌山の自  
然を未来の子供たちの  
ために大切にしなければ  
と痛感した2日間だ  
った。

早速、新宮市街から  
越路トンネルを走って  
国道168号を走ること  
約15分、左折して高

田川に沿って約5km進  
と高田地区・雲取温泉  
に着く。その裏を流れ  
る高田川ではカヌーの  
授業が始まっていた。

本部のある保育所を  
訪ねるとアジア協会ア  
ジア友の会のスタッフ  
やボランティア関係者  
が炊事・調理班、食器  
洗い班、買い出し班、  
モンごっこに興じる昨  
今、ジャンル・ブッ  
クのCG画面で作られ  
た仮想社会を現実と錯  
覚したり、視覚と聴覚

川狩りや追い詰めて  
ゆく石囲ひ 秦華